

横浜市立 左近山特別支援学校 令和 3 年度版 中期学校経営方針 (令和元～3年度)

学校 教育 目標	一人ひとりがもてる力を発揮し、みんなと一緒に育つ ～一人ひとりの願いや思いを大切に、生きる力を育む～				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的に学び、活動することで、将来必要となる力を育む。 (知) ○ 自分ができそうなことに挑戦する力を育む。 (徳) ○ 自分の体と向き合いながら、明るく活動する力を育む。 (体) ○ 友だちや様々な人と共に活動する力を育む。 (公) ○ 自分の考えや思いを伝え合う力を育む。 (開) 				
学校 概要	創立 2 周年	学校長	副校長	2 学期制	幼児・児童・生徒数 40 人
	幼稚部: 小学部: 22 中学部: 11 高等部本科: 7 専攻科:				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	「(12)年間で育てる子ども像」と 具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション力 ・社会性 ・自己表現力 ・自己決定力 	<ul style="list-style-type: none"> ○進んで学び、自分の可能性を伸ばし続ける意欲のある子 ○自分を肯定し周りを思いやり支えあえる子 ○自分の考えや思いを伝え、さまざまな人とかわりあえる子 <p>・授業の運営改善を通じて、「一人ひとりが持てる力を発揮し、みんなと一緒に育つ」ことができるよう、全教職員が意識して取組む。</p> <p>・地域の小中学校や地域の人と連携しながら、開かれた学校づくりを推進していく。</p>

中期 取組 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○卒業後を見据え、小学部から高等部まで一貫した指導を行います。 ・個に応じた指導を充実し、自分の気持ちや考えを表現する力を育てます。 ・一人ひとりが安心して自己有用感をもち、楽しい学校生活が送れるようにします。 ・毎日運動する機会を設け、その経験を通して、運動の楽しさを実感するとともに、体力の向上を図ります。 ・地域の方やボランティアとともに活動する経験を通じ地域とのつながりを強めます。 ・人とのかわりの中で、自分の好きなことや得意なことを伸ばそうとする態度を育てます。
-------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知 担当 教務、学籍/行い 教科・領域部会/各学級	①児童生徒個々の実態とニーズに基づく目標や計画を学校全体で確認・共有し、指導・支援の充実を進める。②他者とのかわりや主体的な問題解決についての意欲や能力の向上を目指し、児童生徒自身のコミュニケーションツールとしてのICT機器等の積極的な活用を進める。
豊かな心 担当 進路、地域支援・連携、PTA 教科・領域部会/各学級	①自尊感情や自己有用感、仲間意識の向上を目指し、学校生活全体を通じて、できる体験と認め合う体験を重視した指導・支援の充実に向けた取組を推進する。②左近山地域や居住地域とふれあう学習活動を大切に、地域の人とのつながりや地域の社会資源を活用した学習を展開する。
健やかな体 担当 保健、給食、医ケア 教科・領域部会/各学級	①全職員が肢体不自由児の身体や感覚等に関する理解を更に深め、個々の身体の状態や発達段階に応じた指導・支援の充実を進める。②「食育」や「体の健康」等の授業を通して、自分の身体や健康(アレルギー等)について理解を深め、主体的かつ安全に活動しようとする意識を高める。
センター的機能の 取組 担当 進路、地域支援・連携、PTA	①関係諸機関との連携を進めるとともに、小中高等学校への相談支援等の拡充を進める。②副学級校交流校へは、当該児童生徒の特性や支援等についての説明を丁寧に行う。また必要に応じて、教職員や児童生徒等に対して障害理解や人権に関わる研修等の取組を進める。
自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 進路・地域支援連携・PTA 教科・領域部会/各学級	①本人・保護者のニーズに応じた進路に関連する情報を適宜提供する。②自分らしい生き方の選択・決定のために、個々の希望やニーズを踏まえ、可能性を拡げる支援を行う。③開校後初となる高等部卒業生の進路決定とともに、各生徒の見学・実習先の確保に向けた取組を継続する。
地域連携 担当 進路、地域支援・連携、PTA	①地域行事等への参加は、新型コロナ感染拡大防止の取組の中で、学校として協力できる方法・内容を検討し進めていく。②学校ボランティアなど地域人材等の育成と学校教育への参画を積極的に進めていく。③学校づくり懇話会をベースに、学校運営協議会の設置への取組を推進する。
安全管理 担当 防災、通学支援/保健、給食、医ケア	①教職員の防災・防犯等の意識を高めるため、研修や訓練などを通して課題を分析しながら、安全な学校づくりを進める。②ヒヤリハット事例の分析から、教育活動でのリスクを低減する対策を構じていく。③医療的ケア・人工呼吸器使用児童への対応等についての研究を進める。
通学支援 担当 防災、通学支援	①登下校支援のモデル校として、福祉車両の業者及び特別支援教育課との連携を密に、これまでの課題等の分析をしながら安全・安心な通学支援体制について引き続き検討を進める。②スクールバス運行2社と、安全で確実な運行等についての検討を進める。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会 研究・研修、人権	①教職員自身の人権意識の維持・向上のために、研修等を適宜実施する。②児童生徒の関係性等について、教職員が常に情報共有を図り未然防止の取組を強化する。③児童生徒がありのままの自分と他者を認めることができるような授業や指導・支援の在り方について、引き続き研究する。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務、学籍 研究・研修、人権	①人材育成指標を活用したメンターチームの再構築等により、教職員が相互に育て合う職場づくりを進める。②教職員が自身の目標と組織での役割を意識して職務に当たることで、教職員の力量を向上させる。③より機能的な組織と協働の在り方の検討をもとに校内組織・分掌を見直し、主体的に協働し合う働き方へ改善を進める。